

保険者を訪ねて

しあわせあふれる
ひと・もの
交流拠点都市

八代市



《八代市の概要》

| | | |
|---------|-----------|-----------|
| 人 口 | 128,150 人 | |
| 国保被保険者数 | 34,675 人 | |
| | 一般 | 34,488 人 |
| | 退職 | 187 人 |
| 後期高齢者数 | 22,624 人 | |
| 世 帯 数 | 56,038 世帯 | |
| | 国保世帯数 | 20,668 世帯 |
| 医療機関等数 | 医科 | 120 機関 |
| | 歯科 | 65 機関 |
| | 調剤薬局 | 73 薬局 |

(平成 30 年 8 月末現在)

| 担 当 課 | 職 員 | 非常勤職員等 |
|----------|------|--------|
| 国保ねんきん課 | | |
| 保険税係 | 8 人 | 2 人 |
| 医療給付係 | 6 人 | 2 人 |
| 後期高齢者医療係 | 6 人 | 4 人 |
| 年金 | 4 人 | - |
| 健康推進課 | 職 員 | 非常勤職員等 |
| 業務係 | 8 人 | 1 人 |
| 第一保健予防係 | 10 人 | 9 人 |
| 第二保健予防係 | 6 人 | 2 人 |
| 第三保健予防係 | 2 人 | 6 人 |

八代市は九州のほぼ中央に位置し、東は九州山地で宮崎県に接し、西は八代海を隔てて天草諸島を臨み、面積約 681km² の市域を有しています。

山・川・海そして広大な平野と多様で豊かな自然環境に恵まれ、一級河川の球磨川、清流氷川のもたらす豊富で良質な水の恩恵を受け、全国有数の農業生産地、県内有数の工業都市として発展してきました。

また、九州の中央に位置するという地の利から、陸は九州縦貫自動車道や九州新幹線、海は八代港と交通の要衝として、物流・人流の拠点都市の機能を併せ持つ地域です。

今回は、八代市の国保の状況や特定健診の取り組み、八代市独自の活動について、国保ねんきん課の秋永医療給付係長と健康推進課の小島第三保健予防係長にお話しを伺いました。



(左) 職場風景



(右) 秋永係長
(左) 小島係長

－医療費適正化のためにどのような取り組みをされていますか。

（秋永係長）

八代市では、被保険者証一斉更新時に「ジェネリック医薬品希望シール」の同封を行っています。この他にも、年に2回「ジェネリック医薬品利用差額通知」を送付するとともに、「国保だより」や「ホームページ」を活用した啓発を行って、先発医薬品からジェネリック医薬品（後発医薬品）への切り替えを促進しています。現在では、ジェネリック医薬品が定着しつつあり、「ジェネリック医薬品希望シール」を被保険者証に貼っていただいている方が多数見受けられます。国が示すジェネリック医薬品数量シェア 80%を達成できるよう、国保連合会が提供するデータを確認し、これからも医療機関等と連携を図り、シェア向上に励まなければいけないと考えています。

（小島係長）

「糖尿病性腎症重症化予防」の取り組みを効率的・効果的に実施するため、平成 28 年度から糖尿病専門医・糖尿病連携医と「糖尿病保健医療連絡票」をモデル的に活用し、平成 29 年度からは「糖尿病連携手帳」も活用するなど医療機関との連携体制を構築してきました。平成 30 年度は、八代市医師会・八代郡医師会の先生方にも御協力いただき、かかりつけ医にも「糖尿病保健医療連絡票」の活用を拡大し実施しています。

今後は、医療機関と保険者がより連携を深め、特定健診受診勧奨につなげていきたいと考えています。

（秋永係長）

八代市では、レセプト点検を医療事務専門業者に委託しています。内容点検では、「レセプト点検実施計画書」を策定し、効果率の向上等の目標を設定しています。この目標設定をどのように達成していくのかについては、委託業者と話し合いの場を設け、意見を出し合っています。また、点検の技術向上を図るため、県や国保連合会が主催する研修会に必ず参加しています。今後も随時目標を定め、委託業者と連携を図り、効果率の向上等へつなげていくよう取り組んでいきます。

（秋永係長）

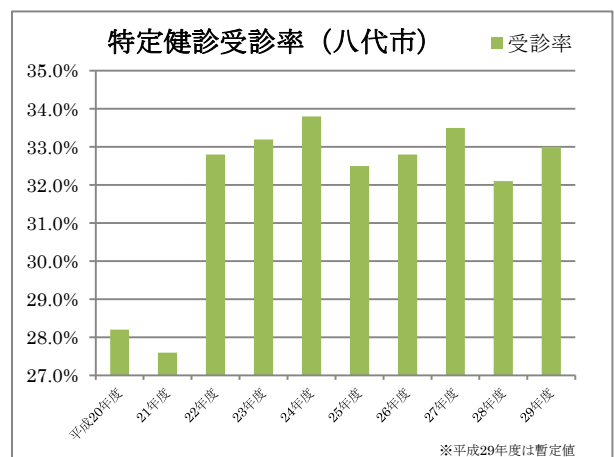
重複頻回受診者に対し、保健師による個別訪問指導を実施しています。対象者を国保連合会のシステムから抽出し、レセプトを確認したうえで、療養上の日常生活指導や適正受診に関する指導につなげています。平成 30 年度は、保険者努力支援制度の評価指標である「重複・多剤投与者に対する取り組み」の対応として、重複薬や残薬の確認を行い、医療機関・調剤薬局で相談するよう勧奨を行うなど医療費適正化を図っています。

－保健事業の取り組みについて聞かせてください。

（小島係長）

八代市の特定健診受診率は県平均(35.9%)を下回っており、特定健診の受診率向上を目標に掲げ、様々な取り組みを行っています。私達職員は、「重症化を未然に防ぎたい」という思いから、特定健診を受診していただけるよう周知や受診勧奨に励んでいます。

特定健診のチラシやポスターを医療機関や公共施設等に掲示し、八代市の広報誌やホームページ、ラジオ（エフエムやつしろ）を活用した広報活動にも力を入れています。また、



特定健診未申込者に対して、受診券を送付し、電話による受診勧奨も行っています。

特に若い世代の受診率向上を目的に「40歳の個人負担金の無料化」や「自己負担金を500円に引き下げ」などの工夫を行っています。

また、健診内容の充実化にも力を入れています。「心電図・眼底・貧血検査」をすべての対象者に追加し、がん検診との同時実施も行っています。

この他にも、特定健診と同等の検査内容（人間ドック）の情報提供に対する報奨金交付も行っています。この情報提供に対する報奨金制度の実績は、平成29年度で45件でした。平成30年度からは、報奨金の金額を上げました。今年度は昨年度を超える件数になればと思っています。

少しでも、多くの方に受診していただけるよう今後も職員一同アイデアを出し合いながら受診率向上に努めます。

（小島係長）

平成20年度から開始した特定健診・特定保健指導も10年が経ち、特定保健指導の対象となっている方からは「何回も保健指導は受けた」という理由から、特定保健指導（健診結果説明会）を拒否される方が増え、初回面接の実施率が下がっている現状です。特定保健指導対象者の中には、早急に医療機関への受診が必要な方もいます。重症化予防の視点からも保健指導実施率を上げる必要があります。現在、健診結果説明会の案内を含め、保健指導対象者への効果的なアプローチ方法や健診結果を分かりやすく説明するための資料内容などについても、検討を重ねています。

その他にも、保健指導に携わる職員の力量形成を目的に、課内で事例学習会を行っています。実際に保健指導を行っている事例や、国保連合会が主催するデータヘルス研修会（力量形成）で学んだことを基に、グループワーク形式で話し合い、意見を出し合う場を設けています。今後も全体の底上げと効果的な保健指導を目標に今後も事例学習会を継続していきたいと考えています。

一健康増進を目的としたイベント等について教えてください。

（小島係長）

八代市では、「お得に」「楽しく」「無理せず」健康づくりに取り組んでいただけるよう、平成30年4月から20歳以上の市民を対象とした『健康づくり応援ポイント事業』を始めました。参加者は、特定健診やがん検診を受け、保健指導や健康相談、健康づくり講演会や健康教室へ参加しポイントを貯めて頂きます。500ポイントから抽選に応募ができ、市内の温泉センター入浴券や特産品の詰め合わせ、地域の商品券などの景品が当たります。特定健診を受診すると200ポイント獲得でき、その他にも、観光振興課が行う九州国際スリーダーマーチで完歩すると50ポイントなど、他課ともタイアップし、楽しくポイントをためることができる『健康づくり応援ポイント事業』となっています。

八代市民に、楽しく健康づくりに取り組んでいただきたいと思っています。

皆さんの健康づくりを応援します。
『健康づくり応援ポイント事業』
 始めました！

☆☆「お得に」「楽しく」「無理せず」続けよう健康づくり ☆☆☆

健診や健康講座に参加してポイントをためよう!!
 抽選で八代市の特産品などが当たります。

対象 **八代市民**で継続して健康づくりに参加したい方
 (20歳以上で学生除く)

ステップ1 ポイント台紙をもらう
 配布場所: 八代市保健センター、健康センター、本庁(国保ねんきん課)
 各健康福祉地域事務所(支所内)

ステップ2 ポイントをためる (ためる期間: 翌年1月末日まで)

| | | |
|--|---|--|
| 1 健診を受診して 特定健診 200ポイント 各種がん検診 50ポイント ・胃がん検診 ・肺がん検診 ・大腸がん検診 ・乳がん検診 ・子宮がん検診 ・前立腺がん検診 ・聴覚障害検診 ・成人歯科健康診査 | 2 対象の講座に参加して ・生活習慣病予防講演会 ・こころの健康講演会 ・歯の祭典 ・健康ウォーキング講座 ・九州国際スリーダーマーチ (1周・2周参加者それぞれ) など 1講座ごとに 50ポイント | 3 自己目標に取り込んで 100ポイント 健康目標(食事・運動・たばこ)を 実践した人 4 健康相談で50ポイント ・特定保健指導 ・健康に関する相談 ・検診予約指導 で保健センターに来られた方に |
|--|---|--|

合計500ポイントから応募

ステップ3 ポイント台紙を提出する (提出期間: 翌年2月末日)
 提出場所: 八代市保健センター、健康センター、本庁(国保ねんきん課)
 各健康福祉地域事務所(支所内)
抽選で八代市特産品などを贈呈
 自分の健康づくりにご褒美
 最高1万円の商品が当たるかも!!

問合せ 八代市保健センター ☎0965-32-7200

—八代市のまちの取り組みを教えてください。

(秋永係長)

八代市には、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「八代妙見祭」のほか、「九州国際スリーデーマーチ」「五家荘紅葉祭」等のイベントが盛り沢山です。

ぜひ、八代に足を運んでいただき『しあわせあふれる ひと・もの 交流拠点都市 やつしろ』を楽しんでほしいと思います。

ユネスコ無形文化遺産

八代妙見祭

江戸時代の八代で、異国情緒あふれる祭礼へと発展してきた「八代妙見祭」。

その後、何世代にもわたり八代の大切な文化として受け継がれ、現在でも往時と変わらない絢爛豪華な神幸行列を見ることができます。行列は、神輿・神馬・獅子・花奴・笠鉦・亀蛇(キダ)・飾馬など40もの多彩な出し物で構成され、参加者はおよそ1,700人、行列の長さは1.5^{km}になります。

現在の神幸行列の原型を作り上げたのは、1632年に八代城に入城した細川三斎(忠興)で、自ら天井画を描いた神輿や、神馬、飾馬などを奉納したそうです。

これが現在も続いている多彩な出し物が登場する八代妙見祭の始まりとされています。



八代妙見祭の特徴のひとつは、地域の繁栄や不老長寿、天下泰平を願って旧城下町から出される9基の笠鉦で、他に類似がない八代独特の形状をしています。こうした笠型や箱型の曳き物を伴う祭礼を「山・鉦・屋台行事」といい、平成28年に八代妙見祭を含む全国33の祭礼が「ユネスコ無形文化遺産」に登録されました。

行列の維持向上や後継者育成など、未来へ継承していくための努力が続けられます。

11月22日(木) 神幸行列(お下り)・御夜

11月23日(祝・金) 神幸行列(お上り)

塩屋八幡宮 → 八代神社

八代妙見祭保存振興会事務取次(八代市文化振興課)

【TEL: 070-5819-8246】

【<http://www.myouken.com>】

ウォーキングは、老若男女どなたでも楽しめる運動です

九州国際スリーデーマーチ

九州国際スリーデーマーチは、毎年5月の3日間、日本三急流の球磨川と清流氷川で育まれた日本一の『い草』『トマト』の産地八代地域を舞台に開催するウォーキング大会です。国際という名のとおりに、世界のウォーキング大会をリーグで廻る26大会の公式大会で『国際色豊かな歩く祭典』です。

順位や記録を競う大会ではありませんので、お気軽にご参加ください。

開催日：2019年5月 第2週

メイン会場：球磨川河川緑地

九州国際スリーデーマーチ実行委員会事務局

【TEL：0965-33-4132】

【<http://www.kinasse-yatsushiro.jp/3day-march/2>】



平家落人伝説の残る秘境の紅葉

五家荘紅葉祭

山々に囲まれた仁田尾・葉木・樅木・久連子・椎原の五家荘。毎年紅葉の時期には、五家荘一帯で紅葉狩りを楽しむことができ、各スポットでは特産品の展示販売や郷土芸能に親しむイベントを開催しています。



10月28日（日）から11月30日（金）までの日曜・祝日は、一方通行の交通規制があり、混雑が予想されますので、ご注意ください。

泉町五家荘一帯

泉支所地域振興課【TEL:0965-67-2111】

五家荘ねっと（公式ホームページ）【<http://goka.sakura.ne.jp/goka/index.html>】

【<http://www.gokanosyo.net/>】